

常 陸 大 宮 市 消 防 の あ ゆ み

年	月 日	
昭和四十六年	2月 5日	・大宮・山方地区救急事務組合設立準備会発足
	4月10日	・一部事務組合設立許可申請
	4月30日	・一部事務組合の設立は、地指令第463号により許可される。
	6月11日	・大宮・山方地区救急事務組合管理者会議を開催
	6月24日	・大宮・山方地区救急事務組合第1回臨時会議開催（規約議決）
	10月 1日	・消防団本部車にて大宮・山方地区救急事務組合の業務を4名で開始（役場消防隊も兼ねる）
昭和四十七年	3月31日	・日本自動車工業会から救急車を寄贈される（トヨタハイエース）
	4月 1日	・消防吏員2名を採用
	12月18日	・大宮・山方地区救急事務組合規約の変更議決
昭和四十八年	4月 1日	・大宮・山方地区救急事務組合の共同処理をする事務及び規約を変更により大宮・山方地区消防事務組合に改める。
	〃	・大宮・山方地区消防事務組合発足（定員33名）
	4月 5日	・大宮・山方地区消防事務組合を設置及び自治省告示第74号により消防本部・署の政令指定
	5月25日	・広報車を購入（ニッサン・ライトバン）
	6月 1日	・旧大宮中学校の仮庁舎で消防本部・署の業務開始
	6月28日	・広報車を購入（三菱・ライトバン）
	7月15日	・水槽付ポンプ自動車を購入（トヨタ）
	〃	・普通ポンプ自動車を購入（トヨタ）
昭和四十九年	4月 1日	・消防吏員4名、事務職員1名採用（職員38名）
	〃	・6名で救助隊発足
	4月10日	・大宮ライオンズクラブより署長車を寄贈（トヨタ・クラウン）
	4月17日	・消防庁舎落成式
	8月21日	・広域消防体制の町村長会議
	9月 7日	・広域消防の打合せ会議
	9月10日	・広域消防体制の町村長会議
昭和五十年	12月31日	・職員1名退職（職員37名）
	2月27日	・日本損害保険協会から救急車を寄贈される。（トヨタ）
	4月 1日	・2町2村による広域消防発足
	〃	・第1分署仮庁舎を美和村下檜沢役場跡に開設
	〃	・消防吏員14名を採用（職員51名）
	6月20日	・救急車を分署に配置（トヨタ）

年	月 日	
昭和五十年	7月 1日	・第1分署救急業務を開始する。(職員13名)
	11月 5日	・救助工作車を配置(ニッサン・パトロール)
	11月12日	・空中消火資機材の備蓄基地として県から委託される。
昭和五十一年	3月19日	・日本損害保険協会から救急車を寄贈される。(トヨタ)
	4月 1日	・消防吏員12名採用(職員62名)
	7月 1日	・大宮地方広域組合消防本部・消防署に名称を変更する。
	〃	・第1分署の消防業務を開始する。(職員25名)
	7月30日	・普通ポンプ自動車を分署に配置(トヨタ)
	12月13日	・第1分署新庁舎が緒川村小舟に完成、落成式を行う。
昭和五十二年	2月 8日	・消防吏員1名採用(職員63名)
	4月19日	・広報車を分署に配置(スバル 550)
	12月21日	・大宮地方広域消防連絡協議会発足
昭和五十三年	3月31日	・通信室に一斉通報装置と火災テレホンサービス設置
	6月 2日	・救助訓練塔を設置
	8月 1日	・救急情報コントロールセンターの地域情報本部としてディスプレイ装置が設置される。
	11月20日	・水槽付消防ポンプ自動車を購入(いすゞ)
昭和五十四年	4月 1日	・条例改正により定員67名となる(消防本部8名、消防署34名、第1分署25名)
	〃	・消防吏員4名を採用(職員67名)
	5月26日	・心肺蘇生訓練用レコーディングレサシアン購入
	7月 3日	・広報車を更新(トヨタ・コロナバン)
昭和五十五年	10月 1日	・管理者に山方町長 根本孫次氏が就任
	12月 2日	・美和村役場庁舎にて防災訓練実施
昭和五十六年	1月30日	・那珂瓜連地区消防本部と相互応援協定を締結する。
	4月 1日	・消防吏員1名採用(職員67名)
	5月25日	・広報車を更新(トヨタ・カーリーナバン)
	7月 3日	・茨城県消防救助技術大会において高所人命救助が3位入賞
昭和五十七年	2月16日	・消防吏員1名採用(職員68名)
	3月24日	・大子町消防本部と相互応援協定を締結する。
	8月15日	・少年、婦人防火クラブ発足(野上小学校28名、隆郷婦人防火クラブ86名)
	8月31日	・御前山村から救急業務に関する事務について委託を受ける(議決)
	10月 1日	・御前山村の救急業務を受託、業務を開始する。
	11月26日	・第1分署の広報車を更新(トヨタ・ライトバン)

年	月 日	
昭和五十八年	1 1 月 1 8 日	・大宮地方広域消防指導員連絡協議会発足
	1 2 月 1 4 日	・美和村下檜沢に大火発生（1 1 世帯 2 3 棟）
	1 2 月 2 1 日	・司令車を更新（トヨタ・クラウン）
昭和五十九年	3 月 3 1 日	・消防吏員 5 名退職（職員 6 3 名）（構成町村との人事交流）
	4 月 1 日	・3 部制勤務を 2 部制勤務に変更（甲部、乙部）
	6 月 2 8 日	・防災行政無線設備設置に伴い通信室を拡張する。
	8 月 1 日	・幼年消防クラブ発足（若草幼稚園 2 5 0 名）
	9 月 2 8 日	・条例の改正により定員 6 3 名となる。
	1 0 月 5 日	・訓練塔兼貯蔵庫を建設
昭和六十年	5 月 1 4 日	・本署電話装置を更新する。
	5 月 1 6 日	・分署の広報車を更新（スズキ 4 WD）
	9 月 2 5 日	・優良消防機関として茨城県知事から表彰を受ける。
昭和六十一年	1 月 1 7 日	・日本自動車工業会から救急車を寄贈される（トヨタ 2 B 型）
	8 月 4 日	・台風 1 0 号による集中豪雨のため各河川が氾濫、全署員を非常招集して警戒に当たる。
	8 月 2 3 日	・普通ポンプ自動車を更新（イスズ C D - I 型）
	1 1 月 4 日	・山方町に発生した建物火災で死者 4 名が出る。
昭和六十二年	5 月 1 日	・国長少年消防クラブ発足（2 8 名）
	5 月 1 2 日	・山方町で大規模林野火災が発生、自衛隊にヘリの出動を要請する。（出動人員 6 0 0 名、出動車両 5 0 台）
	5 月 2 0 日	・消防吏員の貸与品更新に点数制度を導入する。
昭和六十三年	3 月 1 7 日	・日本損害保険協会から救急車を寄贈される。（ニッサン 2 B 型）
平成元年	3 月 3 1 日	・消防吏員 3 名退職する。（職員 5 9 名）（構成町村との人事交流）
	4 月 1 日	・消防吏員 3 名採用する。（職員 6 2 名）
	7 月 2 7 日	・小倉婦人防火クラブへ日本消防協会から軽可搬ポンプ寄贈される。
	9 月 3 0 日	・消防吏員 1 名退職（職員 6 1 名）（構成町村との人事交流）
	1 0 月 1 日	・甲部、乙部を廃止し第 1 中隊、第 2 中隊とする。本部（総務係、予防係、警防係）を総務担当、予防担当、警防担当とした各担当に課長補佐を配置する。
	1 1 月 1 4 日	・ポンプ車購入 C D - I 型分署に配置（更新）
平成二年	3 月 3 1 日	・消防吏員 4 名退職（職員 5 7 名）（構成町村との人事交流）
	4 月 1 日	・消防吏員 5 名採用（職員 6 2 名）
	7 月 1 日	・消防吏員 1 名退職（職員 6 1 名）
	9 月 3 0 日	・消防吏員 1 名退職（職員 6 0 名）
	1 0 月 8 日	・広報車購入 本署配置（更新）トヨタトラック 6 人乗り

年	月 日	
平成三年	2月15日	・安田生命保険相互会社より救急車寄贈（ニッサン2B型 3,000cc）
	2月19日	・平成2年度茨城県消防長会署長部会開催（場所：常陸大宮農協会館）
	3月31日	・消防吏員2名退職（職員58名）（構成町村との人事交流）
	4月 1日	・消防吏員4名採用する（職員62名）
	7月23日	・通信指令室新築工事完了する。
	12月 8日	・御前山村、広域消防体制加入打合せ会議を実施する。
	12月13日	・独居老人緊急通報システム運用開始する。
	12月15日	・消防吏員1名退職（職員61名）
平成四年	1月25日	・救助工作車を購入（イスズ）
	4月 1日	・消防吏員5名採用（職員65名）
	6月30日	・大宮地方広域組合規約変更、御前山村が広域消防に加入する。
	9月16日	・救急車に自動車電話を設置する。
	10月20日	・消防署の事務室及び仮眠室の改修工事が完了する。
	12月14日	・水槽付ポンプ自動車更新（イスズ）本署配置
平成五年	4月 1日	・消防吏員4名採用（職員69名）
	4月 2日	・御前山村が広域消防加入により政令指定を受ける。
	4月 3日	・那珂北部地区危険物安全協会20周年記念式典が開催される。
	6月24日	・広報車更新（トヨタ）
	11月 5日	・県防災訓練が高萩市で実施され当消防本部は、林野火災における空中散布資機材の取扱いを担当する。
	12月 9日	・御前山村の広域消防加入に伴いポンプ車購入（三菱4WD）
平成六年	2月 8日	・救急車更新（トヨタ）第1分署配置
	〃	・大宮地方広域組合事務所兼消防署車庫竣工する。
	2月23日	・消防本部発足20周年記念式典を実施する。
	4月 1日	・御前山村広域消防業務を開始する。
	〃	・機構改革により大宮広域消防署を東消防署、第1分署を西消防署とする。
	〃	・消防吏員4名採用（職員73名）
平成七年	1月18日	・西消防署に広報車を配置（三菱パジェロ）
	2月14日	・司令車を更新する。
	3月31日	・消防吏員1名定年退職（職員71名）
	5月12日	・潜水土4名を養成し潜水隊を東消防署に配置する。（発足）
	6月 8日	・スクーパー潜水装備購入する。
平成八年	3月29日	・消防本部車庫新築工事完了する。
	4月 1日	・消防吏員4名採用する。（職員75名）
	8月 8日	・第11回茨城県防火大会が開催される。（大宮町文化センター）

年	月 日	
平成九年	3月12日	・緒川村入本郷地内大規模林野火災発生（焼損面積46.2h） 出動延べ人員1,353名 消防車両159台 ヘリコプター8機
	3月25日	・高規格救急車1台東消防署に配置する。（トヨタ4,000cc）救急救命士による運用開始
	3月31日	・消防吏員1名定年退職（職員74名）
	7月28日	・資機材運搬車を購入する。（東署配備）
	9月28日	・西消防署広報車を更新する。（ニッサントラック4WD）
	11月 2日	・自治体消防発足50周年記念防災講演会を開催する。
平成十年	3月25日	・体力練成器具を購入する。
	3月27日	・消防本部書庫兼倉庫を新築する。
	8月25日	・栃木県北部の集中豪雨により御前山村地内の那珂川が氾濫し、32棟が床上浸水する。
	10月24日	・携帯119番電話システム運用開始。
	12月17日	・高規格救急車を西署に配備する。
平成十一年	2月 7日	・大規模林野火災総合防災訓練を実施（会場：山方町）
	3月 6日	・山方町舟生地内大規模林野火災発生（焼損面積：10h）
	4月 1日	・茨城県防災航空隊へ職員1名を派遣する。
	10月28日	・変電設備及び非常用自家発電設備を整備する。
平成十二年	1月15日	・消防吏員1名退職。（職員73名）
	3月31日	・消防吏員1名定年退職。2名人事交流により事務局部局へ。
	4月 1日	・消防吏員4名採用する。（職員74名）
	〃	・消防署組織の改革を行い係制度にする。
	6月 2日	・事務連絡車を更新する。（ニッサンステーションワゴン1500cc）
平成十三年	4月 1日	・消防本部組織を一部改正し通信係を新設する。
	4月11日	・美和村高部地内林野火災発生（焼損面積：4h）
	12月27日	・美和村防災訓練を実施。（主催：美和村・大宮地方広域消防連絡協議会）
平成十四年	1月29日	・危険物タンクローリー転落事故（軽油2.2kl流出、死者1名）
	3月20日	・消防緊急通信指令施設竣工検査
	4月 1日	・消防緊急通信指令施設運用開始する。
	7月19日	・関東地区救助技術大会出場「はしご登はん」1名
	9月19日	・広報車を更新、東署に配備する。（ニッサントラック）
平成十五年	3月24日	・緒川村上小瀬地内に小型飛行機墜落炎上（死者2名）
	3月31日	・消防吏員1名定年退職
	4月 1日	・消防吏員2名採用する。（職員75名）
	〃	・本部組織の改革を行い課制度にする。
	6月18日	・広報車を更新東署に配備する。（ニッサン）

年	月 日	
平成十五年	6月30日	・消防吏員1名退職
	7月31日	・関東地区救助技術大会出場「はしご登はん」1名
	12月 5日	・東消防署仮眠室・厨房改修工事を完了する。
	12月17日	・ポンプ車更新西署に配備をする。(イスズ)
平成十六年	3月31日	・消防吏員1名退職
	4月 1日	・消防吏員3名採用する。(職員76名)
	4月 1日	・茨城県生活環境部消防防災課に消防吏員1名を派遣する。
	6月30日	・人員搬送車を更新東署に配備する。(トヨタハイエース)
	10月16日	・管内5ヶ町村が合併「常陸大宮市」となる。「常陸大宮市消防本部」と名称を変更、総務課に旧町村から職員3名が出向「地域消防係」を設置し消防団事務を開始、1本部2署79名の体制となる。
	12月 7日	・高規格救急自動車を更新東署に配備する。(トヨタ)
平成十七年	3月31日	・消防吏員2名定年退職
	4月 1日	・消防吏員2名採用する(職員79名)
	5月17日	・常陸大宮市消防団組織検討委員会設置
	6月30日	・消防吏員1名退職
	12月18日	・水槽付消防ポンプ自動車を更新東署に配備する。(日野)
平成十八年	3月30日	・消防吏員1名退職
	4月 1日	・消防吏員3名採用する。(職員80名)
	〃 〃	・連合消防団を統一、「常陸大宮市消防団」発足 ・茨城県立消防学校教官として消防吏員1名を派遣する。
平成十九年	1月23日	・高規格救急自動車を更新東署に配備する。
	2月 8日	・全国消防職員意見発表茨城県大会を常陸大宮市文化センターで開催
	3月 2日	・消防庁長官より表彰旗を授与される。
	3月31日	・消防吏員3名定年退職
	4月 1日	・消防吏員4名採用する。(職員81名)
	4月 8日	・消防吏員1名退職
	11月 8日	・普通ポンプ自動車を更新東署に配備する。(日野)
平成二十年	3月31日	・消防吏員1名、事務吏員1名退職
	4月 1日	・消防吏員1名採用する。(職員79名)
	〃	・茨城県防災航空隊へ職員1名を派遣する。
	6月 1日	・常陸大宮市消防団組織検討委員会設置
	8月30日	・茨城県・常陸大宮市総合防災訓練実施する。(会場：大宮工業高校跡地)
	11月14日	・高規格救急自動車を更新西署に配備する。(トヨタ)

年	月 日	
平成二十一年	3月31日	・消防吏員5名退職
	4月 1日	・消防吏員6名採用する。(職員80名)
	〃	・消防署組織改革により三交代制勤務を導入する。
	12月15日	・救助工作車を購入(日野)
平成二十二年	3月31日	・消防吏員4名退職
	4月 1日	・消防吏員4名採用する。(職員80名)
	〃	・常陸大宮市消防団組織再編により支団制から分団制に施行する。
	7月16日	・緒川女性防火クラブ発足
平成二十三年	3月11日	・東北地方太平洋沖地震(常陸大宮市:震度6強)
	〃	・消防本部庁舎望楼が倒壊し庁舎が使用不能となる。
	3月25日	・緊急消防援助隊茨城県隊第1次第1陣として2隊5名(救急隊、後方支援隊)を福島県福島市に派遣する。
	～3月29日	
	3月29日	・消防本部、東消防署が仮設庁舎(プレハブ)に移転する。
	3月31日	・消防吏員1名退職
	4月 6日	・緊急消防援助隊茨城県隊第1次第4陣として2隊5名(救急隊、後方支援隊)を福島県福島市に派遣する。
	～4月10日	
	8月12日	・新消防庁舎建設設計を株式会社桂設計と契約する。
平成二十四年	9月 7日	・消防吏員1名退職
	11月18日	・消防本部庁舎解体工事(平成24年2月27日まで)
	3月24日	・新消防庁舎建設工事を起工する。(工期:平成25年3月18日まで)
	3月31日	・消防吏員1名退職
	4月 1日	・消防吏員3名採用する。(職員80名)
平成二十五年	5月13日	・大宮女性防火クラブ発足
	11月13日	・トヨタカローラ新茨城㈱より事務連絡車を寄贈される。(トヨタパッツ)
	3月27日	・新消防庁舎竣工式
	3月31日	・消防吏員3名退職
	4月 1日	・消防吏員3名採用する。(職員80名)
平成二十六年	5月16日	・西消防署耐震工事を起工する。(工期:平成25年11月21日まで)
	5月17日	・市危険物安全協会設立40周年記念式典が開催される。
	2月23日	・常陸大宮市防災訓練(会場:常陸大宮高等学校)
	3月31日	・消防吏員3名退職
	4月 1日	・消防吏員3名採用する。(職員80名)
	〃	・機能別消防団員制度を採用する。
	8月 8日	・第29回茨城県幼年少年婦人防火大会(会場:ロゼホール)
	10月 7日	・高規格救急自動車を更新東署に配備する。(トヨタ)
	11月23日	・常陸大宮市防災訓練(会場:山方中学校)

年	月 日	
平成二十七年	3月31日	・消防吏員5名退職
	4月 1日	・消防吏員5名採用する。(職員80名)
	6月26日	・消防本部訓練塔工事を起工する。(工期：平成28年3月12日まで)
	9月11日	・関東・東北豪雨により消防広域応援隊第1陣として2隊6名常総市に派遣する。
	9月16日	・消防広域応援隊第2陣として2隊5名常総市に派遣する。
	11月 5日	・消防ポンプ自動車を更新西署へ配備する。(日野)
	11月19日	・団本部車を更新する。(トヨタライトエースバン)
	11月23日	・常陸大宮市防災訓練(会場：美和小学校)
平成二十八年	2月28日	・常陸大宮市消防本部勉強会が設立する。
	3月30日	・東日本大震災被災伝承の碑除幕式及び訓練塔竣工式
	3月31日	・消防吏員1名退職
	4月 1日	・消防吏員1名採用する。(職員80名)
	6月 1日	・いばらき消防指令センター運用開始(職員1名派遣)
	11月23日	・常陸大宮市防災訓練(会場：小瀬高等学校)
平成二十九年	3月31日	・消防吏員2名退職
	4月 1日	・消防吏員4名採用する。(職員80名)
	5月 1日	・常陸大宮市消防職員野球部が発足する。
	〃	・常陸大宮市消防職員駅伝部が発足する。
	7月15日	・救急医学と健康講座を開講する。
	8月23日	・第46回全国消防救助技術大会出場(宮城県)「ロープブリッジ渡過」
	10月21日	・常陸大宮市防災訓練(会場：御前山小学校)
	10月22日	・こどもメディカルラリー開催。
平成三十年	11月28日	・資機材搬送車を更新する。
	3月31日	・消防吏員6名退職
	4月 1日	・消防吏員6名採用する(職員80名)
	8月24日	・第47回全国消防救助技術大会出場決定(京都府)
	11月10日	・常陸大宮市防災訓練(ロゼホール)
	12月 4日	・高規格救急自動車を更新
	12月 8日	・第2回子どもメディカルラリー開催。
平成三十二年	3月31日	・消防吏員1名退職
	4月 1日	・消防吏員2名採用(職員80名)

年	月 日	
令和元年	7月 5日	・第48回消防救助技術関東地区指導会出場：引揚救助の部（長野県）
	8月22日	・ドクターカーを更新基幹病院常陸大宮済生会病院に配備する。（三菱）
	9月19日	・広報車を更新西署に配備する。（日野）
	10月 5日	・常陸大宮市防災訓練（会場：山方中学校）
	10月12日	・台風第19号により那珂川、久慈川堤防決壊（緒川、玉川も含む）
	～	（全壊49棟、大規模半壊85棟、半壊294棟、一部損壊119棟）
	10月13日	（隣接消防相互応援隊要請：計1本部） （茨城県消防広域応援隊要請：計8本部）
令和二年	12月 7日	・第3回子どもメディカルラリー開催。
	1月31日	・消防吏員1名退職
	2月10日	・台風第19号による災害活動に対する功績により令和元年度水防功労者 国土交通大臣表彰授与される（常陸大宮市消防団）
	4月 1日	・消防吏員1名採用（職員80名）
	〃	・常陸大宮済生会病院を基幹病院とし常陸大宮市ドクターカー運用開始。
	9月 4日	・防災功労者内閣総理大臣賞授与される（常陸大宮市消防団）
令和三年	11月 6日	・高規格救急自動車を更新
	3月31日	・消防吏員2名退職
	4月 1日	・消防吏員2名採用（職員80名）
令和四年	7月20日	・静岡県熱海市土砂災害による緊急消防援助隊茨城県大隊（消火隊5名、 後方支援隊2名）派遣
	2月17日	・指揮隊車を新たに配備する。
	3月15日	・総務省消防庁より救助資機材積載型ポンプ自動車1台無償貸与
	4月 1日	・（職員80名）
	4月 1日	・消防団組織再編成 19分団53部体制となる。
	4月 1日	・消防団員年報酬を個人払いへ移行する。
	10月29日	・第29回全国消防操法大会出場：小型ポンプの部（千葉県）
令和五年	11月10日	・消防ポンプ自動車を更新、東消防署へ配備する。
	3月31日	・消防吏員1名退職
	4月 1日	・（職員79名）
	7月 5日	・消防吏員1名退職（職員78名）
	9月 9日	・茨城県救急功労者知事表彰を授与される（常陸大宮市消防本部）
	11月20日	・水槽付消防ポンプ自動車を更新、東消防署へ配備する。
令和六年	3月 8日	・第76回日本消防協会定例表彰特別表彰「まとい」を受賞する （常陸大宮市消防団）
	3月31日	・消防吏員1名退職
	4月 1日	・消防吏員5名採用（職員82名）

年	月 日	
令和七年	1月27日	・常陸太田市、常陸大宮市、大子町3消防本部及び茨城県防災航空隊との山岳合同救助訓練を常陸太田市天下野町地内で実施参加する。
	2月27日	・岩手県大船渡市林野火災に伴う緊急消防援助隊茨城県大隊として消火小隊1隊、救急小隊1隊が出動する。(第1次～第4次：計6隊26名)
	～3月10日	
	3月31日	・消防職員1名退職
	4月 1日	・消防職員2名採用(職員83名)
	〃	・人事交流(常陸大宮市消防本部から大子町消防本部へ1名派遣)
	〃	・人事交流(常陸太田市消防本部から常陸大宮市消防本部へ1名派遣)
令和八年	11月12日	・緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が茨城県で開催され、救急小隊1隊3名が訓練に参加する。
	～13日	
	2月17日	・常陸太田・常陸大宮・大子3市町消防本部合同救急救命活動訓練を実施する。
	3月31日	・消防職員3名退職
	4月 1日	・消防職員2名採用(職員82名)
	〃	・茨城県立消防学校教官として消防吏員1名を派遣する。
	〃	・人事交流(常陸大宮市消防本部から常陸太田市消防本部へ1名派遣)
	〃	・人事交流(大子町消防本部から常陸大宮市消防本部へ1名派遣)
	4月24日	・岩手県大槌町林野火災に伴う緊急消防援助隊茨城県大隊として消火小隊1隊が出動する。(第1次～第2次：計2隊10名)
	～4月30日	